

独立行政法人農業者年金基金の令和3事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による令和3年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員解任は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による令和3年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員報酬について反映させる事項はなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和3事業年度評価における主な指摘事項	令和4年度及び5年度の運営、予算への反映状況
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 農業者年金制度の普及推進及び情報提供の充実</p>	<p>令和4年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応しながら、より一層業務受託機関と活動方針の共有等を図り、活動内容に工夫を加えつつ戦略的かつ効率的に取り組まれない。</p>	<p>令和3年度評価における指摘事項を踏まえ、以下の取組を行った。</p> <p>(1) 「令和4年度における農業者年金加入推進の取組方針」を以下の通り周知徹底するとともに、加入推進計画を着実に実施するよう指導・支援・進捗管理を行った。</p> <p>① 例年東京に一堂に会して開催している担当者会議等については、Web方式を併用したハイブリット形式により担当者入門研修会と担当者会議（4月）、新任者業務研修会（5月）、専門業務研修会（6月）を開催し、制度改正の内容と合わせて取組方針の周知徹底を図った。</p> <p>また、各種説明会での説明内容を録画して基金HPに掲載することにより、業務受託機関の担当者が復習できるよう対応した。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響が依然としてあり、加入推進活動の推進が難しい環境下であったことを踏まえ、当該担当者会議等では、</p>

- ・農作業中に聞く機会の多いラジオ放送での広告
 - ・路線バスの車体広告の掲載や同運転手席の後部設置のディスプレイを活用したデジタルサイネージによる広告
 - ・Googleのディスプレイ広告、YouTube動画広告を通じた動画配信、ツイッター、SNSの活用
- など、コロナ禍でも対応可能な各県において工夫された取組事例の紹介を通じて、着実に加入推進が図られるよう対応した。

(2) 例年、全国各県で開催される「加入推進特別研修会」については、コロナ禍を踏まえ、希望する県においてはWeb会議方式での開催も取り入れるとともに、制度改正内容を反映させて新たに作成したDVDの視聴や県段階の業務受託機関による加入推進活動計画の説明、基金からの加入推進事例等の情報共有を実施した。

(3) 目標達成状況が低調であった重点県における活動については、重点市町村・JAにおいて巡回による対応がコロナ禍で困難なため、加入推進用ポスターを発送し、窓口や相談ブース等に掲示し、広く周知活動を行うよう指導するなど、加入推進に資するよう取り組んだ。

また、特に低調であった2県の特別重点県においては、基金・全国農業会議所・JA全中・該当県の業務受託機関による5者協議を通じて特別計画を策定し、取組の強化を行った。2県の特別重点県のうち、1県は県農業会議が中心となり10市町村を重点市町村として巡回して意見交換を行い、もう1県においては12月、1月に5重点市町村と意見交換を行うなど、加入推進に資するよう取り組んだ。